

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 2月28日

事業所名 Grip キッズ小浜

|  | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                 |
|--|--|----|---------------|-----|---|--|
|  |  |    |               |     |   |  |
| 環境・<br>体制<br>整備                                    | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 4  | 3             | 1   | 活動に応じたスペースは確保できている。                           |  |
|  | 2 職員の配置数は適切である   | 3  | 3             | 2   |   | 配置基準は満たしているが、個別対応が必要な児童に対応するための職員確保が課題である。   |
|  | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 1  | 2             | 5   |   | 身体に障がいのある児童がいないために、バリアフリー化はされていない。           |
| 業務<br>改善   | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している                | 5  | 1             | 2   | 定期的にミーティングを開いて、情報の共有や課題解決を図っている。              |  |
|  | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 7  | 1             |     | 評価表の他に保護者面談を実施して、ニーズの把握や業務改善に活かすように努めている。     |  |
|  | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 6  | 2             |     | ホームページにて公開している。                               |  |
|  | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 1  | 2             | 4   |   | 外部評価は受けていないため、今後検討が必要である。                    |
|  | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 6  | 2             |     | 研修に参加したり、講師を迎え社内研修をしている。                      |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                   | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 8  |               |     |   |  |
|  | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                | 4  | 3             | 1   |   |  |
|  | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている                                      | 8  |               |     | チームで意見を出し合って立案している。                           |  |
|  | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                    | 8  |               |     | 日替わりで組んだり週単位で組んだり、また、いろんな分野の活動が盛り込まれよう心がけている。 |  |
|  | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                        | 7  | 1             |     |   | 長期休暇の方が利用時間が長く、課題も顕著に出やすいので、細やかに設定するようにしている。 |
| 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 8  |    |               |     |   |  |

|              |                         |   |   |   |   |  |  |
|--------------|-------------------------|---|---|---|---|--|--|
| 適切な支援の提供     | 15                      | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                        | 6 | 2 |   | 毎日支援開始前に当日の流れや活動内容や送迎、また、児童の様子などを共有している。 |  |
|              | 16                      | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                   | 1 | 6 | 1 |  | 勤務体制上当日の振り返りは難しいので、次の日の打合せの際に振り返りをして共有している。          |
|              | 17                      | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                               | 5 | 2 | 1 | 日々記録を取ることを徹底して、支援の振り返りを行い改善につなげている。      |  |
|              | 18                      | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している                             | 8 |   |   | モニタリングを通して支援の振り返りをして、計画に反映させている。         |  |
|              | 19                      | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている                                       | 6 | 1 | 1 |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20                      | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                     | 8 |   |   | 管理者もしくは、児童発達管理責任者が参加している。                |  |
|              | 21                      | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 8 |   |   | 学校への送迎の際や電話で情報共有や連絡調整に努めている。             |  |
|              | 22                      | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                             | 1 | 2 | 3 |  | 現状、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの受け入れはない。               |
|              | 23                      | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                | 4 | 3 | 1 | 会議等の中で情報共有を図っている。                        |  |
|              | 24                      | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している     | 2 | 3 | 2 |  | 現状対象者はいない。   |
|              | 25                      | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                          | 4 |   | 3 |  | 現状、そのような専門機関との連携は図れていない。今後、支援をしていく中で、必要に応じて研修を受けていく。 |
|              | 26                      | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある                                 |   | 2 | 6 |  | ご利用いただいている児童や保護者の方々の意向を踏まえて検討したい。                    |
| 27           | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | 6   |   | 1 |   | 毎月の事業所連絡会と全体会に参加し、情報共有している。              |  |

|            |                                    |  |   |   |   |                                      |   |
|------------|------------------------------------|--|---|---|---|--------------------------------------|---|
|            | 28                                 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                     | 4 |   |   | 送迎時や連絡帳を通じて子どもの状況を伝え合い、情報の共有をしている。   |   |
|            | 29                                 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                    |   | 3 | 4 |                                      | ペアレントトレーニングは実施していないので、今後の取り組みの一環として検討したい。                         |
| 保護者への説明責任等 | 30                                 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている                                   | 7 | 1 |   | 契約の際やお問い合わせが合った場合にはその都度説明をさせてもらっている。 |   |
|            | 31                                 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                           | 8 |   |   | ご相談があった場合には、その都度助言などをさせていただいている。     |   |
|            | 32                                 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                       | 1 | 2 | 5 |                                      | 親子イベントを企画して実施したが、保護者同志の連携を支援するところまでは行かなかったので、そのような場が持てるよう考えていきたい。 |
|            | 33                                 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 8 |   |   |                                      | 現状、苦情を寄せられたことがないが、苦情対応責任者を設置しているので、そのような場合があった際には適切に対応したい。        |
|            | 34                                 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                   | 5 | 1 | 1 | 月間の活動予定表を配布して情報発信をしている。              |   |
|            | 35                                 | 個人情報に十分注意している  | 8 |   |   | 個人情報にかかる書類は鍵付きキャビネットの保管している。         |   |
|            | 36                                 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている                               | 8 |   |   | 視覚支援や文字を使って意思疎通を心がけている。              |   |
| 37         | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている |  | 2 | 6 |   |                                      |   |
| 非常時        | 38                                 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                    | 1 | 1 | 6 |                                      | 各種マニュアルについては最新のものに更新中のため、更新が終わり次第周知したい。                           |
|            | 39                                 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている                                 | 3 | 2 | 3 | 集団活動の一環として行っている。                     |   |
|            | 40                                 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている                                 | 2 | 1 | 5 |                                      | 研修機会が設けられるように努める。   |

|                  |    |  |   |   |   |  |
|------------------|----|--|---|---|---|--|
| 等<br>の<br>対<br>応 | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 |   | 2 | 現状、身体拘束が発生するケースはないが、契約時に事業所ならびに保護者双方で確認している。 |
|                  | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 5 | 1 | 1 |  |
|                  | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  |   | 4 | 4 | 職員全員に共有ができていないので、きちんと共有できるような体制を構築していく。      |